

30年3月13日

軽井沢町議会  
議長 市村 守 様

会派（議員）名  
代表 押金 洋仁  
（報告書作成）寺田和佳子

## 研修報告書

### 1 視察日程

平成29年8月9日（水）

### 2 視察先及び目的

- （1）NPO 法人 いいだ自然エネルギーネット山法師  
化石燃料ゼロハウス 風の学舎  
①資源・エネルギーに関する取り組みについて

### 3 視察参加者

寺田和佳子

### 4. 研修内容

- （1）飯田市 — 平成29年8月9日（水）

#### ◎視察目的

資源・エネルギーに関する取り組みについて

#### ◎視察内容（ヒアリング内容）

説明者 NPO 法人 いいだ自然エネルギーネット山法師 平澤和人

#### ◎考察

飯田市の職員から「いいだ自然エネルギーネット山法師」の事務局長になった平澤さんから話を伺った。施設（風力発電・太陽光発電・太陽熱温水器・雨水タンク・薪ストーブ・かまど・暖炉・ヒートウォール・ウッドボイラー）説明とNPOの設立経緯から、現在の取り組みまでについて伺った。

伝統および近代技術の組み合わせによるエネルギー自給ができる施設を利用してもらいながら、様々な体験学習（五平餅づくり・豆腐づくり・農作業・炭焼き・椎茸の菌打ちなど）を企画。

年間通して大豆を育て味噌作りをしたり、薪や間伐材の切り出しから加工まで行

なっている。全国から多くの学校や各種団体を受け入れ、交流の場となっている。元々飯田市は住民たちのコミュニティがあり、協働が日常化している為、様々な企画に住民たちが多く参加する現実がある。

震災後、自然エネルギーに注目が集まったが、7年近く経った近頃では関心も薄れてきている。本来はすぐさまエネルギー転換を図ることが必要で、その為には私たち自身お生活を見つめ直し、ある程度今の生活で使用する電気を抑制する覚悟も必要である。例えば、コンビニや自動販売機・夜中までついている街灯・ネオンなどで使われるエネルギー抑制、24時間営業の規制も検討すべきである。

それを行なった上で、電子力や化石燃料でなく自然エネルギーでまかなえるということ再認識する時期である。

自然エネルギーにも様々あり、その土地にあった自然エネルギーを十分検討することも必要であると思われる。